

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
公益社団法人 福岡県人権研究所
“りべらしおん” No. 33 (2023/1/25)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

I <会員から>第8回部落史研究部会/史・資料プロジェクト合同研究会(1月14日)

これからの部落解放を展望するならば、部落史は通史としてとらえる必要がある。そのためには、連続した史・資料が望まれる。しかし歴史をさかのぼるほど、求める史・資料の入手は困難である。そこで断片をつないで歴史像を描くことにならざるを得ない。

そのような中であって、「小倉藩人畜改帳」は江戸時代初期の農村の実態を知る上で、貴重な史・資料である。しかし、それに続く史・資料がないため、「かわた」が「穢多」にいつ変わったのか、だれが穢多身分として制度化されたのか究明されていない。

制度化されてから後の「風俗取り締まり」については、「部落解放史ふくおか」や「北九州部落解放史資料」等に詳しい。また、穢多身分の農業化を進めることになった「仕居」と江戸末期の家族構成・年齢構成については、史・資料に基づき具体的に描き出すことができる。

小笠原藩は、穢多の労働力に頼ることによって、農村の体制を維持しようとしてきた。その結果、幕末においても百姓・穢多身分共に高持の割合は、90%以上であった。しかし、「穢多新百姓」の存在は、百姓と穢多身分の違いをあいまいにするという意味において、身分制の根幹を揺るがすという新たな矛盾を生み出すことになった。

今回は、解放令以降の京築地方の部落解放の姿をたどっていく。(加來康宣)

II 第210回定例研究会

1月22日(日)春日市クローバープラザ505研修室を会場に「『感染症と部落問題—近代都市のコレラ体験—』の射程」をテーマにした第210回定例研究会を行いました。参加者は20名でした。はじめに石瀧豊美さん(イシタキ人権学研究所所長)が「関儀久『感染症と部落問題—近代都市のコレラ体験—』の射程」と題して研究の位置づけや史資料の活用の在り方について話されました。続いて、関儀久さん(本研究所理事)が「『感染症と部落問題—近代都市のコレラ体験—』を執筆して」と題して話されました。その後小正路淑泰さん(本研究所副理事長)の司会で意見交流が行われました。

<感想から>

○史資料の扱い方、見方。また、表現の仕方、言葉の使い方についていろいろ考えさせられました。

○大変興味深い内容の著書でした。また、今日の議論もよかった。深く考えるきっかけとなりました。

○石瀧氏の指摘、解説はとても面白かった。関さんの著者としての率直な表現もよかった。研究所の出版物についても同様の勉強会を開いてほしい。

III お知らせ①

(1) 第7回啓発部会

日時：2023年1月28日(土)13:00~16:00

場所：田川市民会館

テーマ：「今日の啓発の在り方について」

(2) 第9回部落史研究部会/史・資料プロジェクト合同研究会

日時：2023年2月11日(土)14:00～

内容：問題提起

テーマ「京築地方における部落史の一断面」②

問題提起者 加來 康宣さん(会員)

場所：古賀市ししぶ交流センター（JRししぶ駅西口）

（古賀市日吉3丁目14-3 TEL092-942-3243）

参加費：500円

(3) 第4回ジェンダー部会 森崎和江『からゆきさん』を読む 学習会

日時：2023年2月26日(日)14:00～ ZOOM同時開催

講師：うりう ひさこさん(園田久子 本研究所副理事長)

会場：福岡県ボランティアセンター会議室(福岡県吉塚合同庁舎5階)

◇事前予約制です。締切2023年2月24日(金)

問合せ：(電話)092-645-0388/0387 (FAX) 担当：田中

(4)「第31回三・一文化祭」

多文化交流マダン(広場)三・一文化祭(「三・一文化祭実行委員会主催」)が、4年ぶりの開催です。会場は前回と変わり福岡市立香椎浜小学校体育館です。

日時：2023年3月26日(日) 11時開場 12時～16時

場所：福岡市立香椎浜小学校 体育館

内容：楽器体験ワークショップ、民俗あそび体験(ボナ・皿回し)、ソゴチュム(小鼓舞)など

*「食文化コーナー」は開催しません。

*詳細は研究所フェイスブック参照

問合せ：事務局長 朴康秀(パク・カンス)さん TEL/FAX 092-571-1131

Eメール festa191931@yahoo.co.jp

< * 研究所主催の各部会・講座の開催等の詳細については、ホームページをご覧ください。 >

IVお知らせ②

(1) (公社)福岡県人権研究所「2023年度研究プロジェクト研究委託」の公募について

* 締切は、1月末までです。

☆ホームページ

<https://www.f-jinken.com>

〔人権研究所の出版物〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！一学校文化史のおきみやげー』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とはー』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

森山沾一・和智俊幸・横田司・坂田美穂『殉義の星と輝かん～百年生きる「解放歌」と柴田啓蔵』

部落史研究部会/史・資料プロジェクト『2020/2021 史・資料プロジェクト報告集「身分」を考える』

木村かよ子「ポストカード」5種5枚セット 500円

☆お求めは

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

ニュース担当：峰

info@f-jinken.com（登録解除はこちらから）